

白鳥誠 市政レポート Vol.102



発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882

E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp

令和8年3月定例会

今定例会では、令和8年度当初予算についての審議が行われ、賛成多数により可決されました。また、物価高騰がいつまで続くのか不透明ななか、市民生活への影響を最小限にするべく国からの重点支援地方交付金を活用し、生活者・事業者への支援に向けた取組みを推進する補正予算が可決しました。今号では、令和8年度の当初予算と物価高騰対策の補正予算を中心に報告します。

R8年度一般会計予算

一般会計 5,417億円(前年度比 △95億円、△1.7%)

一般会計〈歳入予算の主な内訳〉

(単位：億円、%)

	R8 予算額	対前年度増減額	増減率%
①市税総額	2,321	109	4.9
個人市民税	1,112	76	7.3
法人市民税	174	24	16.3
固定資産税	755	5	0.7
②国庫支出金	1,192	△11	△0.9
③市債	375	△218	△36.8
④諸収入	221	△12	△5.1
⑤地方消費税 交付金	295	28	10.5
⑥地方交付税	279	△7	△2.4
⑦繰入金	71	△24	△24.8

①市税総額は、2321億円となり前年度に比べ109億円4.9%の増となっている

②国庫支出金 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
清掃工場等整備事業費収入	2	△88
重点支援地方交付金	42	37

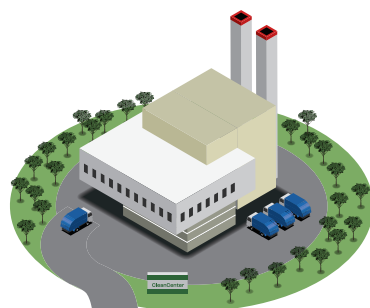
*国が用途を指定して交付するお金。国庫補助金、国庫負担金等の総称。

③市債 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
建設事業債	375	△218

④諸収入 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
ちば消防共同指令センター整備事業費収入	5	△20



⑤地方消費税交付金 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
地方消費税交付金	295	28

*消費税の一部を、人口と従業者数に応じて市に交付されるもの。消費の増加が見込まれていることなどに伴い増額。

⑥地方交付税 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
普通交付税	267	△8

国が地方の財政の格差を調整するために配分されるお金(地方に配分されるべき所得税等の一定割合を国が一括して徴収し、地方に再配分するお金)。それぞれの自治体の財源不足額に応じて決定する「普通交付税」がある。国庫支出金は特定の目的のための補助金であるのに対し、地方交付税は地方の裁量で自由に利用することができる財源。

⑦繰入金 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
財政調整基金繰入金	30	△39



〈歳出予算の主な内訳〉

(単位：億円、%)

	R8 予算額	対前年度増減額	増減率%
義務的経費	3,172	148	4.9
内訳			
人件費	1,087	50	4.8
扶助費(生活保護費等)*1	1,545	82	5.6
公債費(借金返済費用)	539	17	3.3
投資的経費(普通建設事業費)	491	△340	△40.9
内訳			
補助事業(国の補助金が支給される事業)*2	157	△305	△66.0
単独事業(市が単独で行う事業)*3	334	△35	△9.4
その他の経費*4	1,755	97	5.8
合計	5,417	△95	△1.7

増減の主な内訳

*1 扶助費 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
民間保育園等運営	331	36
障害者介護給付等	288	27
生活保護事業費	375	△3

*2 補助事業 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
新清掃工場建設	0	△276
新設校建設	0	△47

*3 単独事業 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
ちば消防共同指令センター整備	6	△26
最終処分場整備	0	△24

*4 その他の経費 (単位：億円)

	R8年度	前年度増減
下水道事業繰出金	124	24
住民情報システム標準化	51	18
病院事業繰出金	76	13

物価高対策

令和7年度2月補正予算の概要

65億4,300万円 債務負担行為(将来にわたる債務を負担する行為)を含む

国の補正予算に伴い、物価高への本市独自の対応として、下水道使用料等の減免や消費活性化・生活支援に係るキャンペーン、学校給食費等の支援のほか、中小企業者や高齢・障害者施設等への支援に係る経費を計上(物価高騰などの影響を受ける市民や事業者の負担を軽減)。

◎下水道使用料等の特別減免(債務負担行為 27億4,800万円)

1件あたり最大5,796円減免(令和8年7月～12月検針分)

◎市営水道料金の特別減免(債務負担行為 3,600万円)

基本料金・従量料金の各20%

一般的な3人世帯(口径20mm・月20m³使用)の場合 約4,600円を減免(令和8年7月～12月検針分)

※県営水道の料金は千葉県が減免を実施

◎消費活性化・生活支援キャンペーン(7億8,000万円)

物価高における市民生活を支援するとともに、市内消費を喚起し、地域経済を活性化するため、キャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーンを、千葉県と開始時期を合わせて実施

市内の小売店、飲食店等利用でポイント還元率 5%(想定)-期間中の付与上限額 3,000円相当・1回あたりの上限1,500円相当

※県が同時期に最大10%(想定)本キャンペーンと合わせることで、最大15%のポイント還元を受けられる見込み。

(県のキャンペーンの詳細は今後決定する予定)令和8年8月以降実施予定 ※予算上限に達し次第終了

◎学校給食費支援(債務負担行為 8億9,500万円)

給食の質を維持するため、市立小・中学校等の給食費を引き上げるが、令和8年度については、国からの財政支援を活用し、保護者負担を求めないこと(小学校保護者は負担なし)と保護者負担を従前のまま、据え置き(中学校保護者負担は従前のまま)

◎保育施設等給食費等支援(債務負担行為 5億5,400万円)

給食の質を維持するため、公立保育所・認定こども園の給食費を引き上げるが、令和8年度については、国の交付金を活用し、保護者負担を従前のまま、据え置き。あわせて、民間保育施設等に対し、食材料費高騰に係る経費を助成(対象：公立保育所、民間保育園、認定こども園、幼稚園等(485か所)、補助額：3歳以上児約67円/食、3歳未満児約98円/食、対象期間：令和8年4月～令和9年3月)

◎中小企業者エネルギー価格等高騰支援(11億2,900万円)

エネルギー価格等のコスト増加の影響を受ける中小企業者に対して、事業継続のための支援金を支給

令和7年4月から令和8年3月までの間で、以下のいずれかに該当する中小企業者(一律10万円支給)

①光熱費・燃料費の合計が月3万円以上

②原材料費等のコストの合計が3か月平均で50万円以上

●申請時期：令和8年5月(予定)

◎高齢者施設等支援(2億6,800万円)

物価高騰の影響を受ける高齢者施設等に対して、光熱費等の負担増に対する支援金を支給(約2,100か所)

●支給額

入所施設 1施設あたり………30万円

通所事業所 1事業所あたり………10万円

訪問事業所 1事業所あたり………6万円

訪問入浴事業所 1事業所あたり………9万円

※千葉県が実施する支援の対象とならない施設については、上記に加え以下の金額を支給(約500か所)

(相談事業など行う千葉県内で数少ない事業所は除外しているが、千葉市は物価高騰対策と必要と考えている)

入所施設 定員1人あたり………1万7千円

通所事業所 1事業所あたり………21万円 ※小規模施設は 8万円

訪問事業所 1事業所あたり………1万円

●申請開始 令和8年5月(予定)



◎地域子ども・子育て支援：事業継続支援(2,300万円)

物価高騰下でも、安定的な事業運営を継続できるよう、地域子ども・子育て支援事業を実施する民間事業者に対し、物品購入に係る経費を助成

対象事業：子どもルーム、アフタースクール、延長保育 一時預かり、産後ケアなど

補助対象経費：事業の運営に要する物品購入経費(10/10)

補助上限額：子どもルーム、アフタースクール1支援の単位あたり 5万円

それ以外の施設1か所あたり 2万5千円(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

※上記期間内であれば、補助申請前の経費も対象

◎畜産飼料価格高騰支援(1,700万円)

畜産飼料の価格高騰を受け、畜産農業者の負担軽減を図るため、給付金を支給

①市内畜産業者26件に対し、**配合飼料支援給付金**(配合飼料の令和7年度当初契約数量 1t当たり400円)を支給

②牛を飼養している市内畜産農業者(19件)を対象に**粗飼料支援給付金(牛1頭当たり5,000円)**を支給

③市内の預託牧場に乳牛を預託する市内酪農家を対象に**預託料金負担軽減給付金(預託牛1日1頭当たり91円)**を支給

●申請開始 令和8年4月予定

◎地域防犯対策(3,000万円)

地域の安全活動の一層の強化を図るため、防犯カメラ設置を助成(300千円/台)

●申請時期(R8年4月～6月)



千葉市財政の課題

千葉市は、約10年前まで「脱・財政危機宣言」下にあり、国から早期健全化団体に指定されるかもしれないという状況にありました。それを表す指標・実質公債費比率(収入に占める借金返済の割合)は、10%台まで低下し、早期健全化団体に転落する比率・25%を超える恐れはなくなり、危機的状況は脱しました。しかし、いざという時に取り崩して使うことができる財政調整基金を、昨年度予算では、99億円のうち69億円を使わざるを得ない厳しい財政状況となりました。歳入の増を歳出の増が上回る状態が恒常化する深刻な収支状況にあります。財政調整基金の適正残高というものはありませんが、私は千葉市の財政規模であれば、100億円以上持つべきと思っています。しかし、その水準を回復することはかんたんではありません。今後も、従来からの社会保障関係費、市有施設の老朽化対策、物価高騰に伴う各種行政コストのさらなる増加が見込まれます。加えて米国の関税措置による市税収入の影響やウクライナ情勢や中東情勢は、今後の見通しは、不透明

です。過去に危機的財政状況を招いた要因は、時代、環境の変化に対応した市政の変革、意識改革を怠ってきたことにあると思っています。市民サービスを向上させるためには、開発や箱物を優先させることが重要であるとの認識を変えられず、従来の計画をそのままに実行したこと、また、国が何とかしてくれるという意識のもと、経営に失敗すれば自治体も破綻するという危機感を持たなかったこと。また、市役所の中で、だれもが財政難が進んでいることに気づけなかったとか、予兆を把握できなかったわけではなかったにもかかわらず、自治体全体の課題として受けとめる体制になかったことなどが要因にあるのではないかと思います。その意味においても、一人一人の職員・市民が千葉市の財政状況を把握しておくことが重要です。今後も、私は「市民満足度を高めるには、安定的な財政状況から」を念頭に、活動してまいります。



白鳥 誠
プロフィール

1958年 (昭和33年1月30日生まれ)
1976年 千葉県立木更津高校卒業
1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)
2003年 衆議院議員公設秘書
2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選
現在 千葉市議会議員(無所属・5期目)



ご意見をお聞かせ下さい! 今回取り上げた問題等、市政に関わること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしく願っています。
E-mail : info@m-shiratori.jp Fax : 043-307-4882